

志動

S
H
I
D
O
H



第48回全青司全国大会／第50回全青司定時総会
全青司いばらき全国大会

平成29年3月4日(土)・5日(日) 会場:つくば国際会議場

第48回全青司全国大会／第50回全青司定時総会
全青司いばらき全国大会

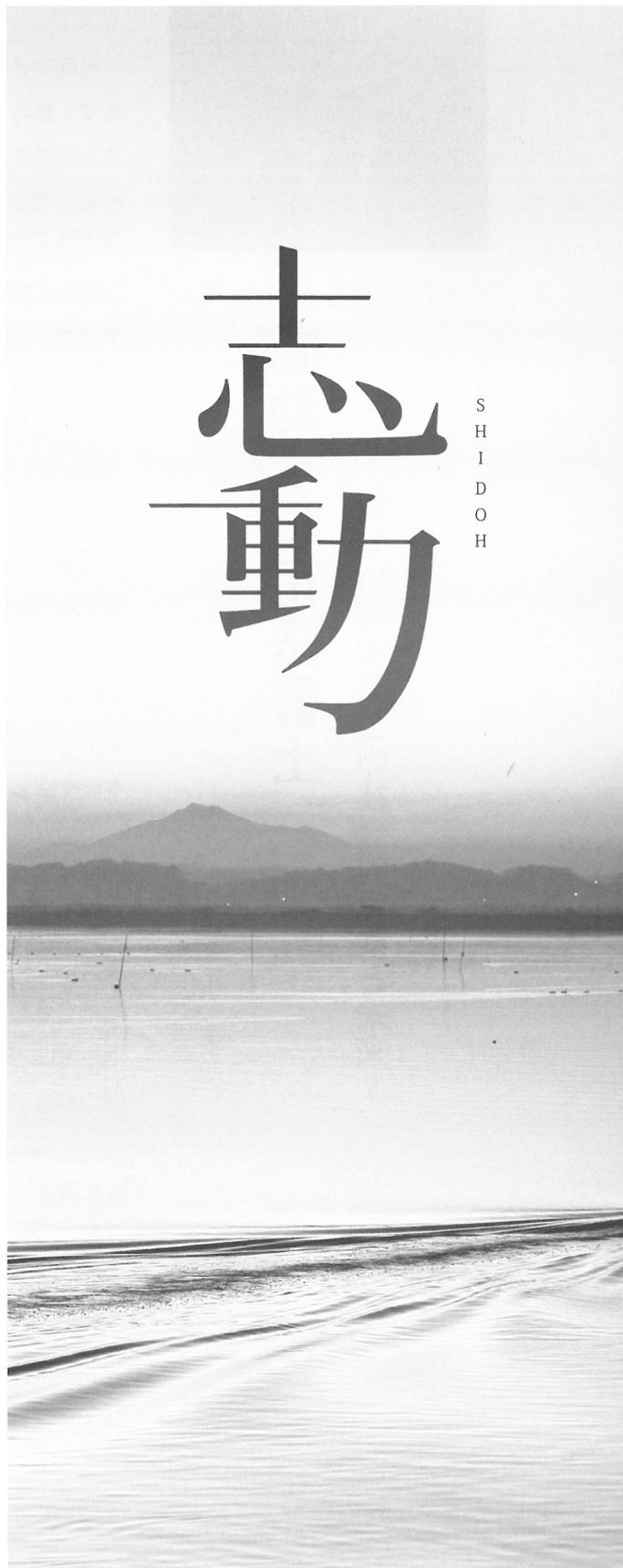
目次

ごあいさつ

全国青年司法書士協議会 会長 梅垣 晃一	2
第48回全青司いばらき全国大会 実行委員長 莊原 直輝	3
茨城青年司法書士協議会 会長 平岡 佳代	4
開催概要	5
タイムスケジュール	6
大会内容	
第1部 基調講演	7
弁護士・東京市民法律事務所代表 宇都宮 健児	
第2部 実践者インタビュー	8
司法書士・よつば司法書士行政書士事務所代表 森田 みさ	
第3部 パネルディスカッション	9
コーディネーター・パネリスト	
大会参加・懇親会・宿泊のご案内	10
会場・宿泊ホテル案内図	14
参加申込書	15
第48回全青司いばらき全国大会 参加助成金についてのお知らせ	16
協賛広告	17

志動

S
H
I
D
O
H





全国青年司法書士協議会 会長

梅垣 晃一

今回で48回目となる全国大会は、「志動」をテーマに、茨城の地で開催されます。青年司法書士が、一法律家として、志をもって歩み始めることの意義とそこに託された社会的役割、そして、そこからつながる新しい司法書士の未来像を描いていきます。

「志」と書くと、とても難しいことのように感じますが、本大会で講演をいただく宇都宮弁護士、森田司法書士からは、私たちと同じ等身大の、そして、悩み、困難を抱えながらも与えられた社会環境下で求められた社会的役割にしなやかに応じてきた姿が浮かびあがるものと思います。志を持った先輩を師として、私たちの歩みを再考し、より確かなもの、より大きなものとしていく契機としていきましょう。

近時、司法書士界において、特に若手司法書士の間においては、なにか重苦しい空気が漂い始めていることが気がかりとなっています。一方では、業務量の減少や業際問題を危惧する声があがり、他方では、新しい展開をみせる司法書士の業務や役割—それは、裁判業務や後見業務などから広がるものを中心に—に十分に対応できていないことへの不安があがっています。その結果、司法書士となる資格を有しながらも、その職能を断念する者さえもあるとの指摘もあります。

ただし、司法書士プロフェッションの存在意義は、単なる業務量の多寡や業際問題あるいは能力担保の問題などでは括られない「何か」に確かに存在しているはずです。その「何か」の一つの例示として、本年度の全青司は、司法書士に「法と暮らしのセーフティネットの担い手」としての役割があることを指摘し、そのための活動を進めてまいりました。まだまだ道半ばではありますが、司法書士の役割を繰り返し示し、全青司がその活動の先頭に立っていくことが、志をもって歩み始める仲間の輪を広げていくことにつながるものと信じています。

全青司の全国大会は、司法書士のあるべき像や未来像を語り合い、そして、全青司の、そして司法書士一人ひとりの一年間の活動を総括する場でもあります。そのような場がすでに48回も繰り返されている全青司の歴史の重みを感じながらも、今年はどのような語り合いの場が築かれ、歴史に刻まれるのか、今から楽しみで仕方がありません。私の故郷でもある茨城の地で、多くの会員の皆様と語り合う日を心待ちにしています。ぜひ、ご参加ください。

志動する司法書士

新しい司法書士の社会的役割と未来

第48回全青司いばらき全国大会 実行委員長

莊原 直輝



現在、志をもって取り組んでいる問題はあるでしょうか。

その解決に向けた道筋はみえているでしょうか。

志を同じくする仲間はいらっしゃいますでしょうか。

本大会のテーマは「志動」です。志をもって、社会問題に取り組む一歩を踏み出そう、動いていこう、という想いを込めて、実行委員会で創り出しました。

私たちを取り巻く社会には、様々な社会問題があり、不条理な現実や人権侵害に苦しみ悩んでいる市民がまだまだ多く存在しています。借金問題や貧困問題、養育費問題、空き家問題、相続未登記問題、耕作放棄地や農地承継問題など枚挙にいとまがありません。

皆様も、日々の業務や相談活動の中で、こうした悩みを抱える市民と向き合い、個別事例の解決のために日々奮闘している事と思います。その過程で、現行制度や社会システムの不備や欠陥に気づく事も多いのではないのでしょうか。

私たち実行委員会は、一人ひとりの司法書士が、社会問題を解決することのできる社会的資源としての自覚をもち、こうした気づきから目を背けず、向き合い、できる事から活動していくことで、そうした活動の一步一步は小さなものでも、それが結集することにより、法制度の改善等社会問題の根本解決へとつながっていくのではないかと、惹起し続ける個別事例を根本から断ち、より多くの市民を苦しみや悩みから解放することができるのではないかと考えました。

そのために、私たち司法書士は、現行の法制度や社会制度に常に疑問や問題意識をもち、これを社会問題と捉えて、問題への取り組みの一歩を踏み出していく必要があると考えます。

本大会では、第1部で社会問題に取り組む意義や可能性を訴えてまいります。第2部では、司法書士への実践者インタビューを通じて、楽しさ、やりがい、悩みや葛藤といった心の動きに迫り、取り組みをより身近に感じていただきたいと思います。そして、第3部は、大会参加者の皆様と一緒に、社会問題への取り組みを考えていくパートとなります。志とは何か？一歩を踏み出すにはどうしたらよいか？目指す司法書士の将来像は？皆様一人ひとりが自分自身に向き合って自ら考えることで、明日からの活動につなげていって欲しいと思います。

全青司いばらき全国大会が、自らの志を見つめ直し、全国各地で「志動」していく契機となるよう願っています。



茨城青年司法書士協議会 会長

平岡 佳代

茨城青年司法書士協議会(以下、「茨城青司協」)は、昭和54年3月に創立され、昭和60年には、今回の全国大会と同じつくばの地で、全青司全国研修会を開催いたしました。それから約31年の時を経て、このたび、茨城青司協として初めて、全青司全国大会を主管することとなりました。

2年前の主管決定からこれまで、大会の内容・企画を考えるにあたり、「司法書士のあるべき姿」「青年司法書士としての役割」などを実行委員の皆と議論し、実際に「一步を踏み出した」方々について調査・研究し、時にはお会いして直接お話をうかがう機会を得ました。その過程で、実行委員自身のなかでも新たな気づきや意識の変化がありました。このことは、私を含め実行委員にとって、今後司法書士として業務を行っていくうえで、大変貴重な財産となっていくことと思います。

そして、本大会の準備をととして茨城青司協が組織として活性化し、会員同士がつながりを深め、おおいに盛り上がりを見せています。この勢いのまま、大会当日まで駆け抜けて参ります。

ところで、4年連続魅力度最下位という不本意な評価を得ている茨城県ですが、実は魅力がいっぱい。そのうちのいくつかをご紹介します。「メロン」「栗」「レンコン」は収穫量日本一(懇親会のメニューに出るかも!?)。日本百名山のひとつ「筑波山」あり(会場から見えます)、日本で2番目の面積を誇る湖「霞ヶ浦」あり(表紙の写真に用いています)、風光明媚な地でもあります。「ごじゃっぺ」に代表される茨城弁は、人間味あふれる温かな雰囲気醸し出します(決して、早口でけんかしているわけではありません)。魅力あふれる茨城に、ぜひ皆さまお越しく下さい。実行委員一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、本大会の開催に際し、ご尽力いただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。

第48回全青司いばらき全国大会／第50回全青司定時総会

開催概要

- 開催日 平成29年3月4日(土)・5日(日)
- テーマ 志動
- 大会・総会会場 つくば国際会議場〈大ホール〉
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3
TEL 029-861-0001 【公式HP】 <https://www.epochal.or.jp/>
- 懇親会会場 オークラフロンティアホテルつくばアネックス〈昴の間〉
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1丁目1364-1
TEL 029-852-1112 【公式HP】 <http://www.okura-tsukuba.co.jp/>
- 登録料 金 8,000円

インターネット割引 インターネットでのお申込み 500円割引	早期お申込み割引 平成29年1月20日以前のお申込み 500円割引	最大1,000円割引 金 7,000円
--------------------------------------	---	------------------------
- 懇親会費 金 8,000円 ※同伴の方も同料金となります。ただし、小学生未満の方は無料となります。
- 主催 全国青年司法書士協議会
- 主管 茨城青年司法書士協議会
- 後援 関東ブロック司法書士会協議会 茨城司法書士会
- 事務局 〒306-0632 茨城県坂東市辺田1469-2
事務局長 森島 和彦(もりしま かずひこ)
TEL 0297-35-0258 FAX 0297-35-0268
E-mail morishima@morishima-office.com
- 大会専用HP <http://www.ibaraki-seishikyo.com/lp>
- Facebook 「第48回全青司いばらき全国大会」にて検索

大会会場 つくば国際会議場について

- ◆なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、会場駐車場については割引駐車券のご用意がありますので、ご利用の方は、当日、受付にお申し出願います。
- ◆施設敷地内は、指定場所以外は、全面禁煙です。
- ◆託児ルーム(無料)をご用意しております。ご利用を希望される方は、登録時に人数及び利用日をご記載願います。会場に限りがございますので、申込多数の場合は、お受けできない場合もございます。当日申込は受付致しかねます。

懇親会会場 オークラフロンティアホテルつくばについて

- ◆なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、会場駐車場については無料駐車券のご用意がありますので(時間制限あり)、ご利用の方は、当日、受付にお申し出願います。
- ◆クロークをご用意しています。

タイムスケジュール

3月4日(土) 第48回全青司いばらき全国大会・懇親会

- 12:00 受付開始
13:00 開会式
第1部 基調講演
第2部 実践者インタビュー
第3部 パネルディスカッション
18:00 終了
大会会場から、懇親会会場へは徒歩移動
18:45 懇親会受付開始
19:00 懇親会
21:00 終了

3月5日(日) 第50回全青司定時総会

- 9:00 受付開始
9:30 定時総会
13:00 閉会式
13:30 終了

懇親会のご案内

- 日時** 平成29年3月4日(土) 19:00～(受付18:45)
会場 オークラフロンティアホテルつくばアネックス〈昴の間〉
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1丁目1364-1
TEL 029-852-1112 【公式HP】<http://www.okura-tsukuba.co.jp/>
料理 着席形式
会費 大会参加登録者 8,000円
同伴者(小学生以上) 8,000円
同伴者(小学生未満) 無料

- ◆なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、会場駐車場については無料駐車券のご用意がありますので(時間制限あり)、ご利用の方は、当日、受付にお申し出願います。
- ◆クロークをご用意しています。

第1部／基調講演

『より良い社会を目指して』 ～法律家の志とは～



講師 宇都宮 健児

弁護士・東京市民法律事務所代表

《講師紹介》

日弁連消費者問題対策委員会委員長、日弁連多重債務対策本部本部長代行、東京弁護士会副会長、年越し派遣村名誉村長、日本弁護士連合会会長などを歴任。

現在、全国クレサラ・生活再建問題対策協議会副代表幹事、高金利引き下げ全国連絡会代表幹事、全国ヤミ金融・悪質金融対策会議代表幹事、全国消費者行政ウオッチねっと代表幹事、反貧困ネットワーク代表世話人。

著書に『反貧困—半生の記』（花伝社）、『弁護士冥利—だから私は闘い続ける』（東海教育研究所）、『わるいやつら』（集英社新書） 近著に、『悪と闘う』（朝日新書）、『自己責任論の嘘』（KKベストセラーズ）など多数。

消費者金融、ヤミ金業者の高金利、過酷な取り立てに苦悩し、時に自ら命を絶つ市民も存在した1980年代の日本。宇都宮健児弁護士が暗中模索の中、当初一人で取組み始めた多重債務問題は、問題に取り組む法律家を徐々に増やしながら、被害者団体や市民運動と協働し、遂には世論をも動かし、2006年貸金業法改正の実現に至りました。

現在も、貧困問題に立ち向かい、理想の社会を実現するため、反貧困ネットワークを立ち上げて、さらなる活躍を続けています。市民に寄り添い、その歩みを止めない宇都宮弁護士。なぜ歩み続けることが出来るのか？ その原動力は何なのか？ 胸に秘めた「志」とは？

市民や社会のため、今なおその最前線に立つ宇都宮弁護士が、自身の取り組みを踏まえ、全青司いばらき全国大会でその思いを語ります。

「弁護士ってのは、目の前に来た人だけを助けるんじゃ不十分なんですよ。
背後にいる何十万人、何百万の人を考えなきゃいけない。」

～著書「反貧困—半生の記」より～

第2部 / 実践者インタビュー

『Let's step!』 ～踏み出せば、違う景色が見えてくる～



講師 森田 みさ

司法書士・よつば司法書士行政書士事務所代表

《講師紹介》

日本司法書士会連合会 市民の権利擁護推進室子どもの権利擁護部会所属、宮城県司法書士会 未成年後見委員会担当理事、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート宮城支部長、NPO法人ほっぶすてっぶ理事長、みやぎ青葉の会世話人。

著書に『未成年後見の実務～専門職後見人の立場から』（共著）、論文に『被災地の未成年後見と後見制度支援信託』信託フォーラム2号など。

児童養護施設等で育った子ども達の多くは高校卒業と同時に社会に巣立っていきます。また、退所児童以外にも親の支援を受けられない若者も多数存在します。未だ多い様々な社会の障壁の中、将来への不安を抱えながら精一杯生きる彼、彼女達。そんな現実に対し司法書士である私達にできることはないのか？ 彼等が困難にぶつかったとき、ふと気が付けば側にいる、そんな存在に私達はなれないだろうか。

第2部では児童養護施設退所後の子ども達、その他親の支援を受けられない若者の自立支援を主な目的として平成27年12月に設立された『NPO法人ほっぶすてっぶ』の理事長である森田みさ氏をお迎えし、インタビュー形式でお話を伺います。

東日本大震災を起因とした未成年後見を受託したことが始まりだったという子ども支援に携わるきっかけ、NPO法人立ち上げに至った経緯。活動する中での心の変遷～葛藤や迷い、喜び、やりがい～、そして目指す未来は。「取り組むべき」だからではない。「目の前にある現実と違和感を持つ」、だから自然と動き出す……。森田司法書士の柔らかな口調で語られるお話は等身大のメッセージとして私達に届きます。

第3部／パネルディスカッション

『志動』

コーディネーター及びパネリスト（予定）

全国青年司法書士協議会役員・全青司いばらき全国大会実行委員ほか

日常の業務又はテレビ、インターネットを通して、見えてくる様々な社会問題。不条理な現実苦しむ市民の存在。我々司法書士は目の状況に対し何が出来るのか？社会問題に取り組んだ先にあるものとは。

第3部では、来場者参加型のワークを交えながら、社会問題への取り組みをテーマにパネルディスカッションを行います。

- ・そもそも司法書士は、社会問題に取り組まなければならないのか？
- ・取り組んでいる人はなぜ取り組み始めたのか？最初のきっかけとは・・・
- ・興味がありながら現状取り組めていない人は、どうすれば一歩踏み出せるのか？
- ・社会問題に取り組む司法書士が増えていけば、司法書士は将来どんな姿になっているだろうか？

登壇者を始めとした様々な思いに触れることで、また自分ならどう思うかを考えることで、自分自身の過去・現在を見つめ直し、これから司法書士として、どのような道を歩んでいきたいのか、「未来へと続く道」を思い描いていただきたいと思います。

この第3部が、今一度司法書士としての自分の志を見つめ、それぞれの地で明日から新たな気持ちで動いて行く契機となるよう願っています。